

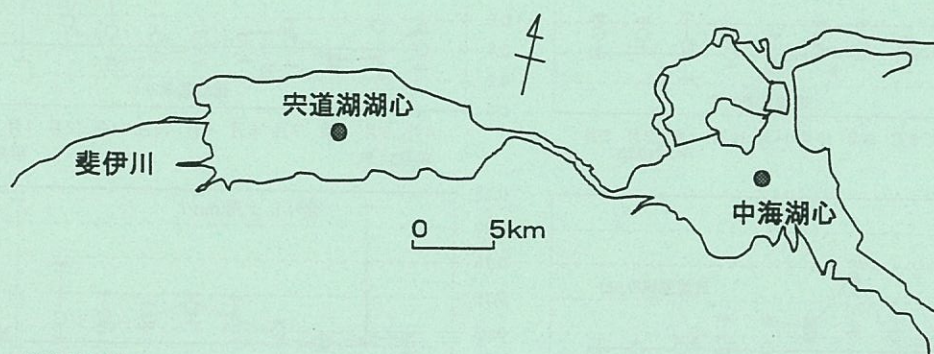
輝水だより (第23号)

[問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

湖沼環境係 電話:22-5562

平成 11 年 11 月の宍道湖・中海の水質の状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点

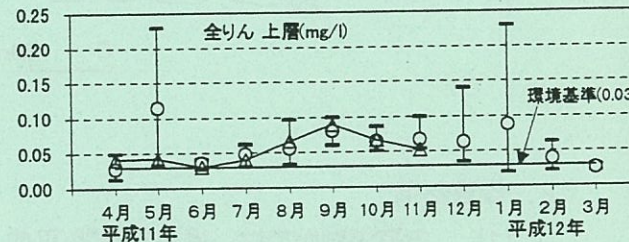
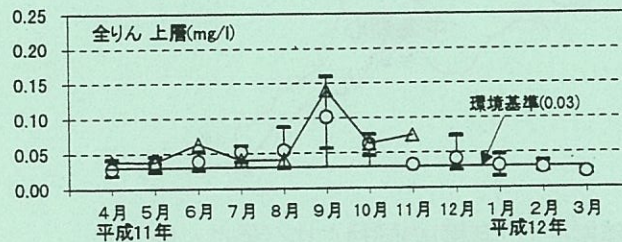
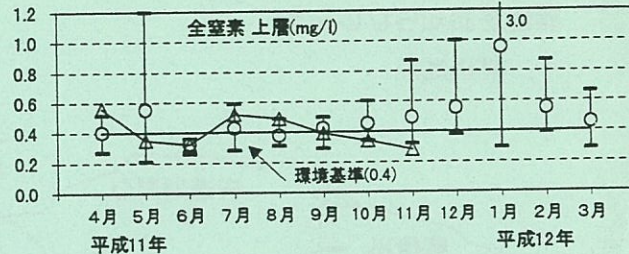
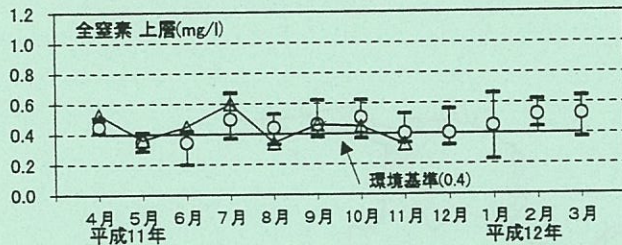
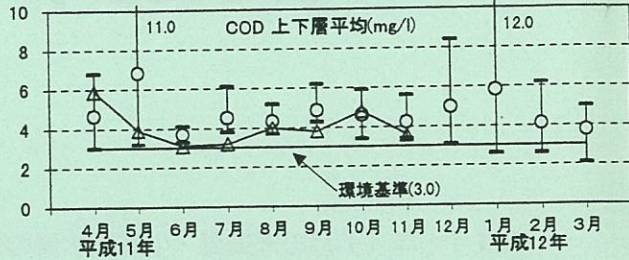
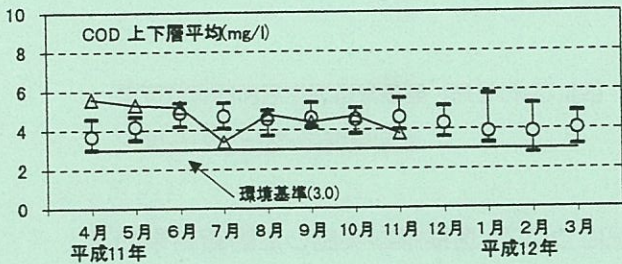
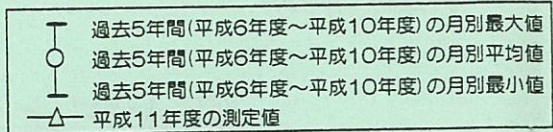


2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成6年度～10年度)の同月と比べると、COD及び全窒素は最低値を示し、全りんは最大値を示しました。斐伊川河口付近を除く湖全域にわたりウキクサ様のアオコが散見されました。また、湖心では下層が貧酸素化していました。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、CODは平均値よりも低い値で、全窒素及び全りんは最低値を示しました。また、中海における島根県域の観測によると、下層は広域にわたり貧酸素化していました。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]平成10年度平均*	
			9月	10月	11月	9月	10月	11月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	°C	—	27.2	23.4	17.5	27.2	22.9	18.0	—	—
pH(上層)	—	6.5~8.5	8.2	8.6	8.3	8.4	8.7	8.5	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	4.4	4.7	3.8	3.8	4.8	3.6	4.7	4.7
SS(上層)	mg/l	5以下	4	5	4	2	7	3	6	9
DO(上層)	mg/l	7.5以上	9.1	8.7	9.8	7.4	7.8	8.9	9.6	9.4
DO(下層)	mg/l	7.5以上	8.6	8.1	<0.5	<0.5	1.6	0.9	7.7	4.1
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.46	0.45	0.33	0.39	0.34	0.28	0.44	0.46
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.14	0.063	0.075	0.089	0.067	0.053	0.051	0.064
Cl(上層)	mg/l	—	2000	2000	2400	11000	9100	10000	1600	8400
Cl(下層)	mg/l	—	2000	2000	2500	17000	16000	17000	2000	14000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	20	25	14	8.6	11	8.1	24	20

* 平成10年度公共用水域測定結果による。



尖道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんと同様にプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は18800mg/lです。